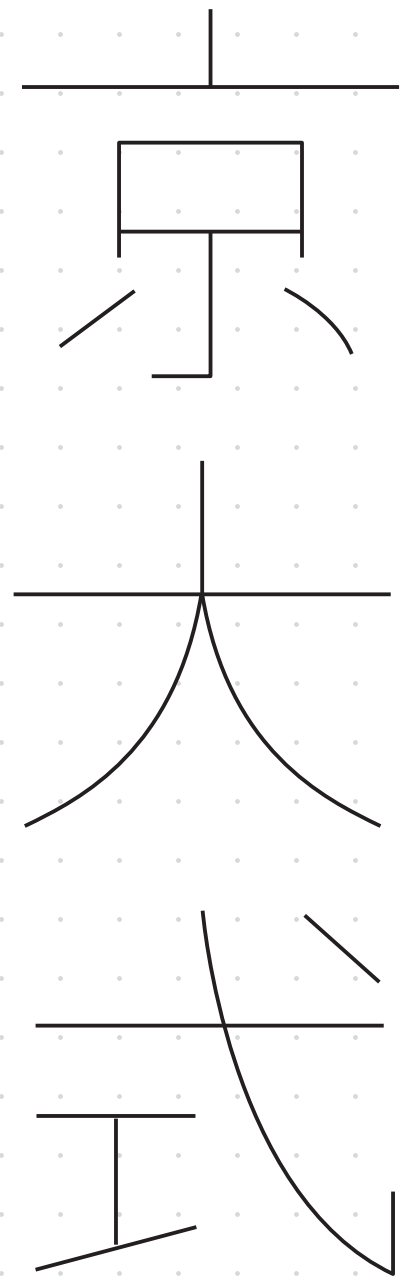




KURAの活動紹介

研究力強化の本質



KURA

文部科学省研究大学強化促進事業

京都大学URA成果公開シンポジウム 2017

2017年5月29日(月) | 時間：第1部：9:30-12:20 / 第2部：13:00-18:10
会場：百周年時計台記念館2階国際交流ホール



お申込方法：<http://www.kura.kyoto-u.ac.jp/event/90>

お申込期限：2017年5月24日(水) ※定員に達し次第、締め切ります(1部、2部とも)

お問い合わせ：京都大学学術研究支援室 Email：contact@kura.kyoto-u.ac.jp

KURA



PROGRAM

日本の大学の研究力の低下が騒がれる昨今、そもそも「研究力」とは何なのでしょう。論文数？ 個々の研究者の能力？ 大学（組織）が持つ機能？ 社会貢献？ 実のところ、誰もが納得する明確な定義はありません。何をすれば「大学の研究力」の強化につながるのでしょうか。

本シンポジウムでは、京都大学術研究支援室（KURA）が、研究力強化に資すると考え取り組んできた事業の成果を公開するとともに、それらをもとに、各方面の方々とのディスカッションを通じて、研究力の「本質」と研究大学の未来像を議論します。

第1部

研究力強化に向けた
KURAの活動紹介

9:30-12:20

1 ポスターセッション

約10件の多彩なKURAの活動と、KURAがサポートしている18件の「『知の越境』融合チーム研究プログラムSPIRITS」事業の成果をポスター形式で紹介。プロジェクトの担当者や、研究者と直接、議論できます。

2 ライトニングトーク

1回目 10:15-10:25
2回目 11:05-11:15

10名のURAが自らの活動について1分間のライトニングトークに挑戦。果たして「京大式」の真髓が伝わるか。ご来場の皆様にも「判定」をお願いします。

3 レクチャー・ワークショップ

9:40-10:10 KURA HOUR「民間助成団体助成金のススメ」
10:30-11:00 KURA HOUR「マスメディアを使って『研究を伝える』方法」
☆ 11:20-12:20 次世代研究者育成支援プログラム Transferable Skills Workshop

京都大学附属図書館で開催している「研究支援のアンテナショップ」KURA HOURをダイジェスト版で体験。今回、特別公開する次世代研究者向けプログラムとともに、「京大式」をチラ見できます。準備の都合上、事前登録をお願いします。

門外不出だったKURA制作の「科研費の教科書」を特別配布します（数量限定）。その他詳細はウェブサイトをご覧ください。
☆ 参加型のワークショップになります。

第2部

研究力強化の
本質的な議論

13:00-18:10

13:00-

開会の辞・趣旨説明 佐治英郎 京都大学 研究担当理事補・学術研究支援室 室長

開会挨拶 山極壽一 京都大学 総長

来賓ご挨拶 文部科学省研究振興局（予定）

基調講演 池田雅夫 大阪大学元副学長 経営企画オフィス 学術政策研究員 シニア・リサーチ・マネージャー
RA協議会 副会長

研究者講演 河野泰之 京都大学東南アジア地域研究研究所 所長・教授
北川 宏 京都大学大学院理学研究科教授・研究担当理事補
出口康夫 京都大学大学院文学研究科教授

15:15-

KURA報告

「京大の10年後の
姿をイメージして」

00. イントロダクション

01. 大学経営の壁を越える「IR」

02. 地域・文化を越える「国際」

03. 学問領域を越える「学際」

04. 組織・制度の壁を越える「RDP(Research Development Program)」

05. アカデミアと社会の壁を越える「産学連携」

06. 逆風を乗り越える「人社系」

07. 事務組織の壁を越える「事務」

パネルディスカッション 池田雅夫 大阪大学元副学長 経営企画オフィス 学術政策研究員 シニア・リサーチ・マネージャー
RA協議会 副会長

松永 康 早稲田大学 研究戦略センター 教授

北川 宏 京都大学大学院理学研究科教授・研究担当理事補

佐治英郎 京都大学学術研究支援室 室長・研究担当理事補

ファシリテーター

塩瀬隆之 京都大学総合博物館 准教授 / KURA 参与

閉会挨拶 湊 長博 京都大学 研究・企画・病院担当理事・副学長

第3部

研究力強化のための
ネットワーキング

18:30-20:00

別途、会費を申し受けます。準備の都合上、必ず事前登録をお願いします。